

東洋製罐株式会社 広島工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東洋製罐株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市下北方1丁目4番1号

(3) 業種

ブリキ缶その他のメッキ板等製品製造業 (2411)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21(2009)年度を基準とする平成22(2010)年度から平成25(2013)年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	65,580	59,678 9	64,930 1.0	63,468 2.3			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	65,580	59,678 9	64,930 1.0	63,468 2.3			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：(生産数量：単位K 1 / 百万個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	10.76	10.34 4	10.67 0.8	10.35 3.8			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算k1)	10.76	10.34 4	10.67 0.8	10.35 3.8			
実績に対する 自己評価	省エネ活動の成果もあり、原単位は順調に削減されております。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	L N Gの使用量は増減無し	<ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上 長時間停止（2時間以上）のオープン関係低燃焼化 ガス焚き吸収式冷温水装置の更新
2	電気使用量の削減	電気の使用量を4%削減	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上 長時間停止時（型換、使用変更）の生産設備の電源OFF 第1エネルギー棟 補機の高効率設備への更新 D I - 1 搬送設備のインバータ改造 冷暖房温度設定の管理徹底 不要時間・不要箇所の照明、冷暖房のOFF 更新時、省エネタイプの照明設備への切替 受変電設備の変圧器更新（省エネタイプ） アシストエアー省エネノズルへの変換
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	コピー用紙使用量の削減	コピー用紙使用量を2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両面コピーの実施 ・ 会議資料のペーパーレス化 ・ 裏紙の利用 ・ パソコン、社内LANの有効活用 ・ プリントアウト資料の削減 ・ コピー用紙使用量の表示と啓蒙活動
	廃棄物総排出量の削減	廃棄物総排出量を30%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水汚泥の含水率の減少 ・ プラスチック製品使用抑制・廃棄設備のプラスチック製品再利用化 ・ 廃塗料排出量の削減 ・ クーラントフィルタの廃棄量削減 ・ ゴミの分別の細分化と減量化

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。